

認知症介護情報ネットワーク (DC ネット)

<https://www.dcnnet.gr.jp/>

認知症介護情報ネットワーク
Dementia Care Information Network

【運営】：認知症介護研究・研修センター（東京、大阪、仙台）
我が国の認知症介護に関する研究・研修の中核的機関として
平成13年度に厚生労働省により設置されました

ホーム Googleカスタム検索 検索

専門職向けページ

センターの概要 認知症を知る ご本人・ご家族の方へ 相談先について

認知症ケアに携わる皆様へ

新型コロナウイルスの感染拡大は、様々なところに多大な影響を及ぼしております。このような状況の中、感染の不安を抱えながら認知症の方に対して日々懸命なケアをおこなっておられる皆様の誠意と努力に対し、心から敬意を表します。

認知症ケアの現場から寄せられた情報では、施設の宴会制限や密着回避の難しさ、利用者にマスクを着用していただく困難さ、ケアスタッフの精神的ケアなど多くの課題があげられております。

認知症介護研究・研修センターでは、新型コロナウイルス感染症への対応に関する情報を収集し、「認知症介護情報ネットワーク (DCnet)」を通じて収集した情報を提供していきたいと考えております。

皆様がこの難局を乗り越え、認知症の方やご家族、ケアスタッフの皆様にも一日も早く平穏な日々が訪れることを、ここから願っております。

令和2年4月27日
認知症介護研究・研修東京センター センター長 山口晴保
認知症介護研究・研修大阪センター センター長 加藤謙彦
認知症介護研究・研修仙台センター センター長 加藤伸司

新型コロナウイルス関連情報はこちら

- 仙台センターの新型コロナウイルス感染症対策の方針
- 認知症介護指導者の所属する介護施設等における新型コロナウイルス対応の現状や工夫
- 認知症介護指導者を対象とした新型コロナウイルス感染症対策にかかわる緊急アンケートの集計結果について
- 介護保険施設・事業所における新型コロナウイルス感染症に対応した事例の紹介

専門職向けページ をクリック

認知症介護情報ネットワーク
Dementia Care Information Network

【運営】：認知症介護研究・研修センター（東京、大阪、仙台）
我が国の認知症介護に関する研究・研修の中核的機関として
平成13年度に厚生労働省により設置されました

ホーム Googleカスタム検索 検索

専門職向けページ

認知症介護指導者/実践者等養成 各種研修事業 研究情報 研究成果物 学習支援情報 研究報告書検索 地域実践事例検索 行政情報

研究発表・学術支援情報

- 虐待防止教育関連
- 大府センター式コミュニケーションバック
- BPSD予防・ケア資料
- 若年性認知症関連
- 災害時における「支援ガイド」
- センター方式
- 初めての認知症介護
- センター書籍
- ひもときシート/ひもときシート“アシスト”

2020年 7月20日
第18回大府センター認知症ケアセミナー開催のご案内

2020年 7月14日
スーパージョーシンの卒業記念行事を開催しました（大府センター）

2020年 7月13日
ふたへん認知症ケア実践者養成講座（大府センター）

家族支援と認知症カフェ

BPSD予防講座
認知症ケア現場に活かす研究発表
認知症ケア実践者養成講座

青い帯の中の『研修成果物/学習支援情報』を選択すると上記の画面が表示

> センター方式

> ひもときシート/ひもときシート“アシスト”

必要な書式の支援情報の項目をクリック

>センター方式

[←](#)
[→](#)
[🔄](#)
[🔍](#)
<https://www.dcnctn.gr.jp/study/centermethod/>



認知症介護情報ネットワーク
Dementia Care Information Network

【運営】：認知症介護研究・研修センター（東京、大宮、仙台）
我が国の認知症介護に際する研究・研修の中核的機関として
平成13年度に厚生労働省により設置されました

[📄 サイト案内](#)
[📍 サイトマップ](#)

[🏠 ホーム](#)

[📄 専門職向けページ](#)

認知症介護指導者 /実務者等育成	各種研修事業	研究情報	研究成果物 学習支援情報	研究報告書検索 地域実践事例検索	行政情報
---------------------	--------	------	-----------------	---------------------	------

専門向けトップ > 研究情報 > センター方式

研究情報

認知症の人のためのケアマネジメント センター方式 関連

センター方式の特徴

1) 本人本位の視点

センター方式は本人を主語にして書き込む方式になっていることが最大の特徴です。本人のありのままの声と行動、場面を観望し、事実に基づきながら「本人はどうか」、本人の視点にたって考えながら記入します。

2) センター方式の基盤となる「共通の5つの視点」

センター方式では、本人本位の視点をより具体化するために「共通の5つの視点」を基盤にシートや項目が作られています。シートの記入を通じて本人がよりよく暮らししていくための様々な可能性やケアのヒントを見つけることができます。

(センター方式5つの視点)

1. その人らしいあり方
2. その人の安心・快
3. 暮らしの中で心の力の発揮
4. その人にとっての安全・健やかさ
5. なじみの暮らしの環境（環境・関係・生活）

3) 一人について1枚からでも使いはじめる

センター方式はA～Eまでの5領域で16枚のシートを準備していますが、すべてを活用しなくても構わないということはありません。各事業所で使用しているアセスメントツールをベースにしながら、一人の人に1枚のシートを追加で書いてみるということから導入できます。

4) 本人を支える地域の関係者の連携ツールとして

センター方式は、本人と共に支えている様々な職種や立場の人たちが連携を具体的に進めていくための道具です。センター方式シートを活用することで、視点や情報、気づきを共有できる仲間が揃え、「その人のための連携」を通じて認知症の人がより良い状態で暮らせるようになった多数の成功事例が積み重ねられています。

お問い合わせ先：

認知症介護研究・研修センター

東京都杉並区高井戸西1-12-1 TEL：03-3334-2173 FAX：03-3334-2718

詳細コンテンツ

▶ センター方式の特徴

- 全体構成とせうい
- 留意点
- シート集
- 添かし方
- テキスト

詳細コンテンツ

▶センター方式
| シート集

の特徴

<https://www.kyushu-u.ac.jp/kyushu-university/kyushu-university>
 専門知識をいかに活用するか

研修情報

認知症の人のためのケアマネジメント センター方式 関連

センター方式シート集

下記からダウンロードしてご利用ください。

※シート上に掲載されているシート形式の印刷に際する著作権上の対応は講師、研修センターへ掲載します。

※シートへの印刷を希望しない方は、印刷、複製、二次加工等を行う場合はお問い合わせ下さい。

ダウンロード

■ センター方式シート集(全シート) 印

■ A-1 基本情報 (私の基本情報シート) 印

■ A-2 基本情報 (私の家族情報シート) 印

■ A-3 基本情報 (私の健康情報シート) 印

■ A-4 基本情報 (私の生活スタイルシート) 印

■ B-1 認知しの情報 (私の認知シート) 印

■ B-2 認知しの情報 (私の生活認知シート) 印

■ B-3 認知しの情報 (私の認知し方シート) 印

■ B-4 認知しの情報 (私の生活認知シート) 印

■ C-1-1 心身の情報 印

■ C-1-2 心身の情報 印

■ D-1 生活情報 (私ができること、私が得意なことシート) 印

■ D-2 生活情報 (私が苦手なこと、私が不得意なことシート) 印

■ D-3 生活情報 (生活リズム、ルーティンシート) 印

■ D-4 生活情報 (24時間生活情報シート) 印

■ D-5 生活情報 (私のためめまわし方シート) 印


■ D 24時間ケアメント表とシート (ケアプラン記入シート) 印

各種必要なシートを選択してダウンロードして研修に利用（テキストに掲載）

>ひもときシート/ひもときシート“アシスト”

1. ひもときねっと“アシスト”

← → ↺ https://www.dcnnet.gr.jp/support/training/himotoki.php ☆ ☆ ☆ ☆

 認知症介護情報ネットワーク
Dementia Care Information Network

【運営】：認知症介護研究・研修センター（東京、大府、仙台）
我が国の認知症介護に関する研究・研修の中核的機関として
平成13年度に厚生労働省により設置されました

ホーム Googleカスタム検索 検索

専門職向けページ

認知症介護指導者/実践者等養成 各種研修事業 研究情報 研究成果物 学習支援情報 研究報告書検索 地域実践事例検索 行政情報

専門向けトップ > 学習支援情報 > ひもときシート“アシスト”を活用しよう

学習支援情報

ひもときシート“アシスト”を活用しましょう

ひもときシート“アシスト”は認知症の人を理解するためのシートです

平成20～22年に実施された認知症ケア高度化推進事業で開発された「ひもときシート」をベースにして、より考え方の流れや視点をアシストする構造に再構成したシートがひもときシート“アシスト”です。

■ ひもときシート“アシスト” ダウンロード
■ 97-2003形式はこちら
■ PDFはこちら

ひもときシート・ひもときシート“アシスト”は、目的に応じてそれぞれ活用ください

ひもときシートもひもときシート“アシスト”もそれぞれ認知症の人の理解を深めるためのツールです。目的に応じて使いやすい方を活用してください。一般には以下の様に考えるとよいでしょう。

ひもときシートと
ひもときシート“アシスト”の特徴

【ひもときシート】	【ひもときシート“アシスト”】
・より、上級者向け	・より初任者向け
・自由に推測しやすい	・重要な視点が漏れにくい
・医療面は相対的に少	・薬や疾患、身体等を強調
・必ずしも事実確認を記入しない	・事実確認欄があり、丁寧に思考の流れを確認できる

○オリジナルの「ひもときシート」については、ひもときねっとを参照ください

○ひもときシートアシストについてより詳しく知りたい方は、テキスト：みえる認知症ケア ひもときシート“アシスト”BPSD改善ガイドを参照ください（注文はこちら）

まず、“アシスト” のダウンロードの表示があるので、使用の場合はここからダウンロード

そのまま、“アシスト” のページの下方向部分へスクロールしていくと

○オリジナルの「ひもときシート」については、ひもときねっと を参照ください
と表示されているリンク先をクリック

ひもときねっとへ移動

II. ひもときシート



ひもときねっとのトップページ内の
なるほどリンクのダウンロード項目の内の

▶ひもときテキスト

▶ひもとき手帳

をクリック

「ひもときシートをつかってみよう」

へ移動

◎ダウンロード

の中から必要なシートを各自で選択し
必要なワークシートを利用して、実習
に使用する。

(※注 使用するに当たっては、A3可
ただし、提出用はA4のみ)

